

県議会議員選挙で自民党が過半数維持瀬戸際まで後退

[千葉県議会の会派増減]

年	2023	2019
自民党	50	53
立憲民主党	15	10
公明党	8	8
日本共産党	4	2
国民民主党	2	9
その他	16	12
合計	95	94

4月9日に投票が行われた県議会議員選挙で日本共産党は、松戸市選挙区（三輪由美議員）と柏市選挙区（加藤英雄議員）の2現職が議席を維持したのに加え、船橋市選挙区（丸

山慎一県議）と市川市選挙区（浅野史子県議）で議席を回復した結果、2議席から4議席へと議席を伸ばしました。

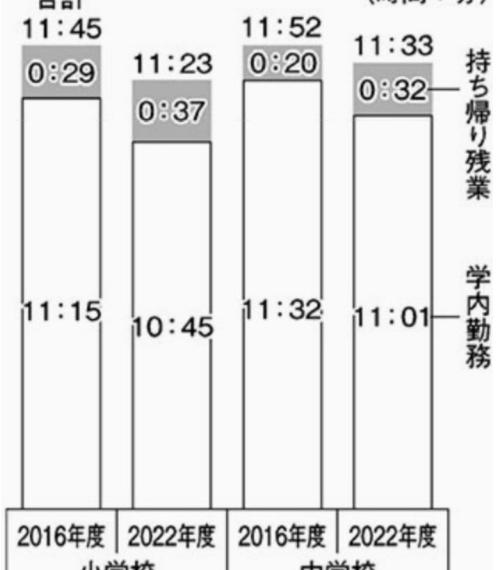
一方、自民党は、船橋市選挙区で3期つとめた現職が落選。富津市（6期）や千葉市若葉区（5期）でもベテランが落選するなど、全県で現職7人が議席を失いました。

県議会全体でも4年前の53議席から50議席へと後退し、あと3議席で過半数（48議席）を割り込むところまで追い詰められました。

また、8つある常任委員会のうち、5つの常任委員会では、それぞれ定数12人に対して自民党は6人となり、過半数を確保できませんでした。

これまで県議会全体ではもちろんのこと、すべての常任委員会で過半数維持が当たり前だった状態が変わっており、自民党政治への批判の強さを物語っています。

◆教員の1日当たりの勤務時間の推移（時間：分）



前回（2016年度）の調査では、持ち帰り残業を含めた平均勤務時間が小中学校とも1日12時間近くに上り、

も1日12時間近くに上り、「過労死は決してあります」と宣言しました。一方、教員の過労死は「決してあつ

めて浮き彫りになりました。これを受けて2019年1月の中央教育審議会答申は、

「このままではならない」「根絶を目指す」と宣言しました。

（※）「給特法」は、公立学校教職員の給与に関する特別措置法で、残業代を支給しない代わりに、給与月額の4%を教職調整額として一律に支給する制度。

間外手当の支給を

文部科学省が、個々の教員の「意識改革」や「業務の適正化」を強調し、増員などを後回しにしたため、今回の調査でも、勤務時間は微減にとどまり、中学校では4割が過労死ラインを超えていました。中途退職や精神疾患による休職者も増加、学級担任を配置できない

状況が広がり、教職を目指す学生も減って昨年度の教員採用試験の倍率は過去最低に並びました。

教員が一人ひとりの子どもたちにいねいに向き合い、教える環境を保障するためにも、教職員の大増員や時間外手当の支給など抜本的な対策が必要です。

教員の異常な長時間労働打開は急務の課題

5月11日、船橋駅南口でスタンディングが行われました。



参加者と丸山県議（右から3人目）、かなみつ市議（右、岩井市議7人目）、松崎市議（同9人目）

II 5月11日・船橋駅南口

日本共産党一宮飯山満支部横断歩道設置の要望を受けて道路を調査

5月12日、日本共産党中央委員会委員会が、横断歩道をつけてほしいとの地域からの要望2カ所の現地調査をおこないました。

一つ目は細い道路で、近くの方は「先月も車同士の事故があった。子どももよく通る道なので心配だ」と話してくれました。

もう1カ所は、同じ道路で直角に曲がる急カーブの角にもう1本、道路が交差しています。車両がいまにもぶつかりそうです。

女性が道路を渡ろうとしていましたが、横断歩道が無いため車が止まらうとしましたが、車両がいまにもぶつかりそうです。

女性が道路を渡ろうとしていましたが、横断歩道が無いため車が止まらうとしましたが、車両がいまにもぶつかりそうです。



細い道路が直角に曲がり別の道路と交叉している場所で行き交う車両

支部では、現地調査を踏まえて、警察署と船橋市に横断歩道の設置を要請することについています。